

# 文法的連結と意味的連結への 気づきのための並べ替えタスク

—初級学習者のパラグラフ・ライティングの  
前段階として—

英米文化学会第41回大会  
2023年9月2日(土)

樋口 晶子 (四日市大学)

1

## 1. 先行研究

CLT(Communicative Language Learning)の観点から

### ライティングとリーディングとの緊密な関係性①

White (1981: 91)

..., the act of writing involves the act of reading as well.  
(書くことは、同時に読むことも含んでいる。)



読む練習を進めることで、受動的な読みから脱して能動的に作文する  
練習に近づく。

4

## 本日の内容

1. 先行研究
2. 本研究の概要
3. 学生の発言内容
4. 分析
5. 結論と課題

2

## 1. 先行研究(続き)

CLT(Communicative Language Learning)の観点から

### ライティングとリーディングとの緊密な関係性②

Johnson (1981: 101)

It is once we begin to think about teaching aspects of  
paragraph structure that we realise how close the  
relationship between reading and writing really is.

パラグラフ構成の指導を考え始めると、読むことと書くことの密接な  
関係に気づく。

5

## 1. 先行研究(続き)

### 書き手の意思を表現・伝達する英作文(Composition)の活動

Pincas (1982: 26)

- |                       |   |  |
|-----------------------|---|--|
| 伝達<br>(Communication) | [ | ① 相手(読み手)とのコミュニケーション<br>② 特定の話題の選択<br>③ 伝達すべき内容の表出 |
| 構成<br>(Composition)   | [ | ④ 一文一文の構成<br>⑤ パラグラフの構成<br>⑥ 文と文の連結                |
| スタイル(文体)<br>(Style)   | [ | ⑦ スタイルの選択<br>⑧ ていねいさのレベル<br>⑨ 感情表現の度合い             |

日本語訳は沖原 (1991: 3)を参考

6

## 1. 先行研究(続き)

### パラグラフレベルでの書き方指導

Johnson (1981: 101)

パラグラフ構成に関心を向けさせ、パラグラフ構造特有の特徴を練習させることが重要

文法的連結(cohesion)

how we join sentences together to form 'grammatical units'  
「どのようにして、各文を文法上のまとまりにするか」

意味的連結(coherence)

how we organise our sentences to form 'sense units', a meaningful flow of ideas  
「どのようにして、意味上のまとまり(意味のある思考の流れ)を組み立てるか」

7

## 1. 先行研究(続き)

文法的連結

白畑ほか (2009: 55)

cohesion

語と語、文と文が明示的に結びついてテキストを構成すること。  
結束性を生み出すものとして、接続詞や照応表現がある。

意味的連結

coherence

テキストが明示的に示されていない場合でも、状況・場面・文脈などの言外の意味から推量することによって、文意がつながる場合の結びつき。

8

## 1. 先行研究(続き)

### cohesion coherence 文法的連結と意味的連結に焦点を当てたライティング指導法の例

Johnson (1981: 103)

(グループワーク・カードの並べ替えタスク)

- ① 短い文(物語が最適)の各文を別々のカードに書き、カードの順番をばらばらにして、学習者のグループに渡す。
- ② 学習者たちは相談しながら、カードを原文どおりになるように並べる。

10

## 1. 先行研究(続き)

### 文法的連結と意味的連結に焦点を当てたライティング指導法の例(続き) Johnson (1981: 103)

(グループワーク・カードの並べ替えタスク)

学習者がこの練習をしている際のディスカッション

It is highly detailed discussion about specific aspects of cohesion and coherence.  
(文法的連結と意味的連結について詳細に討議している)

日本の初級レベルの大学生にも、当てはまるだろうか？

11

## 2. 本研究の概要

本研究は、CLTに基づくパラグラフ・ライティング指導の前段階として文法的連結・意味的連結に焦点を当てた指導・練習手法の一つである「カードの並べ替えタスク」を取り入れた授業を行ったものである。

### 【リサーチ・クエスチョン】

- ① ディスカッション中の教師の助言により、学生は文法的連結(接続詞)と意味的連結の両方に意識を向けて話し合いをするか。
- ② どのような教師の助言が、学生の並べ替えタスクに影響を与えるか。

15

## 1. 先行研究(続き)

### CLTが抱える課題

白畑ほか (2009: 62)

特定のCLTにおいては文法指導が軽視され過ぎていて、調和の取れたコミュニケーション能力が伸ばされないことなども指摘されている。



カード並べ替えタスクにより  
初級レベルの日本人大学生は  
「意味」と「文法」の両方に意識を向けられるか？



本研究のリサーチ・クエスチョンに続く

13

## 2. 本研究の概要(続き)

- (1) 時期 2022年12月・2023年1月
- (2) 協力者  
初級レベルの日本人大学生24人(非英語専攻)  
▽グループA 16人(大学1年生) 「基礎英語II」  
▽グループB 8人(大学2年生) 「英語コミュニケーションII」
- (3) 授業の内容 ※各グループに1回の授業  
①接続詞の授業を行う。  
②カードを並べ替えて物語を再構成するタスクを与える。

16

## 2. 本研究の概要(続き)

### (4) 授業の流れ

- ① クラス全体に接続詞の授業を行った後、1クラスを2人～4人ずつのチームに分ける。
- ② 1つの物語を前方照応語を含まない文に書き直して、8枚のカードに分けて書いたものを用意し、順序をばらばらにして各学生に配る。他のチームにも同様に配る。
- ③ 学生全員に、タイトルが "A Love Story" で、実話であることを伝える。

17

## 2. 本研究の概要(続き)

### (4) 授業の流れ(続き)

- ④ 学生は自分のカードを読み、他のメンバーに日本語で内容を説明する。
- ⑤ メンバーは他の学生の説明をもとに、カードを正しいと思う順番に並べ替える。
- ⑥ ある程度できた段階で、学生は教師と話し合う(録音)。
- ⑦ 正しい順番になるまで、グループ内の話し合いと教師とのディスカッションを繰り返す。

18

## 2. 本研究の概要(続き)

### (7) カードの内容

赤字部分は、実際のカードでは太字にして表示。  
実際のカードには、番号はついていない。

- 1 Anna's father said, "You can't marry Iztok" when she said that she wanted to marry him.
- 2 Anna decided to say good-bye to Iztok because her father said, "You can't marry him."
- 3 When Anna said good-bye to Iztok, he kissed her.
- 4 Iztok kissed Anna before walking away.
- 5 Anna married an engineer after she left Iztok but she was not happy.
- 6 Iztok got married to another woman after Anna married an engineer but he was not happy.
- 7 Many years after their first marriages, Anna divorced her husband and Iztok divorced his wife.
- 8 Anna and Iztok were not young, but they loved each other and were finally happy when they married.

21

## 2. 本研究の概要(続き)

### (9) 教師の発言

- ディスカッションの最初  
「どうして全体をこういう順番にしたの？」  
学生は意味的連結に注目したか、文法的連結に注目したか。
- ディスカッションの最後  
「太字のところも見て、事柄の順番や関係を考えてね」  
教師が教えたい文法項目に対して、学生の注意を喚起する。

24

### 3. 学生の発言内容

#### (1) 実際の会話例 (チームB3 2年生) (音声)

学生1 , , , だから, , ,  
 学生2 旦那さんと離婚して,  
 学生1 彼女も旦那さんと離婚して,  
 イズトックも,  
 学生2 奥さんと,  
 学生1 離婚した, ってことや。  
 で, (カードを読む)  
 ああ, わかった, わかった。  
 学生2 あ, ここは, 大丈夫そう。  
 学生1 これは, 最後やな, これは,  
 これは, 最後や。  
 学生2 こっちよね, 問題は。  
 教師 太字のところ, andとかafterとか。  
 学生1 接続詞みたいな。

教師 そうそう。そこのところもよく見て  
 みて。どういう順番で起こった  
 か, っていうこと。  
 学生1 , , , ああ, そういうことか。  
 ってことはさあ, 順番的にさあ,  
 これがどうなるかわからんけど,  
 たぶんこうではあるんじゃない?  
 うん。  
 学生2 たぶん, これを話したから,  
 学生1 最後に, , , ってことやな。  
 学生2 ああ〜。  
 学生1 ってことやん。  
 学生2 離れるんやろね。

### 3. 学生の発言内容(続き)

#### (2) 実際の会話内容：チームA1(1年生)

1回目のカード配置

- 7 Anna も Iztok も離婚
- 8 Anna と Iztok は, 結婚して幸せ。
- 6 Iztok は別の女性と結婚。不幸。
- 1 Annaの父, 結婚に反対
- 4 Iztok 立ち去る前にキス。
- 5 Annaは結婚。不幸。
- 3 Annaが別れを告げ, Iztokはキス。
- 2 Anna は父の反対のため「さよなら」

1回目の学生の発言(赤字は教師の発言)

なぜこの順番にしたか?  
 「そういう話だと思ったが,  
 後半は意味が通じない」  
 andやbutを見てはどうか?  
 「接続詞の意味はわかるが,  
 話の中に入るとわからない」  
 なぜ最初を「7」にしたか?  
 「“Many years after”は  
 『昔, むかし』という意味  
 だから最初」

### 4. 分析

#### (1) KH Coder-3によるテキスト分析

樋口, 中村, 周 (2022: i, 38-71)

KH Coder

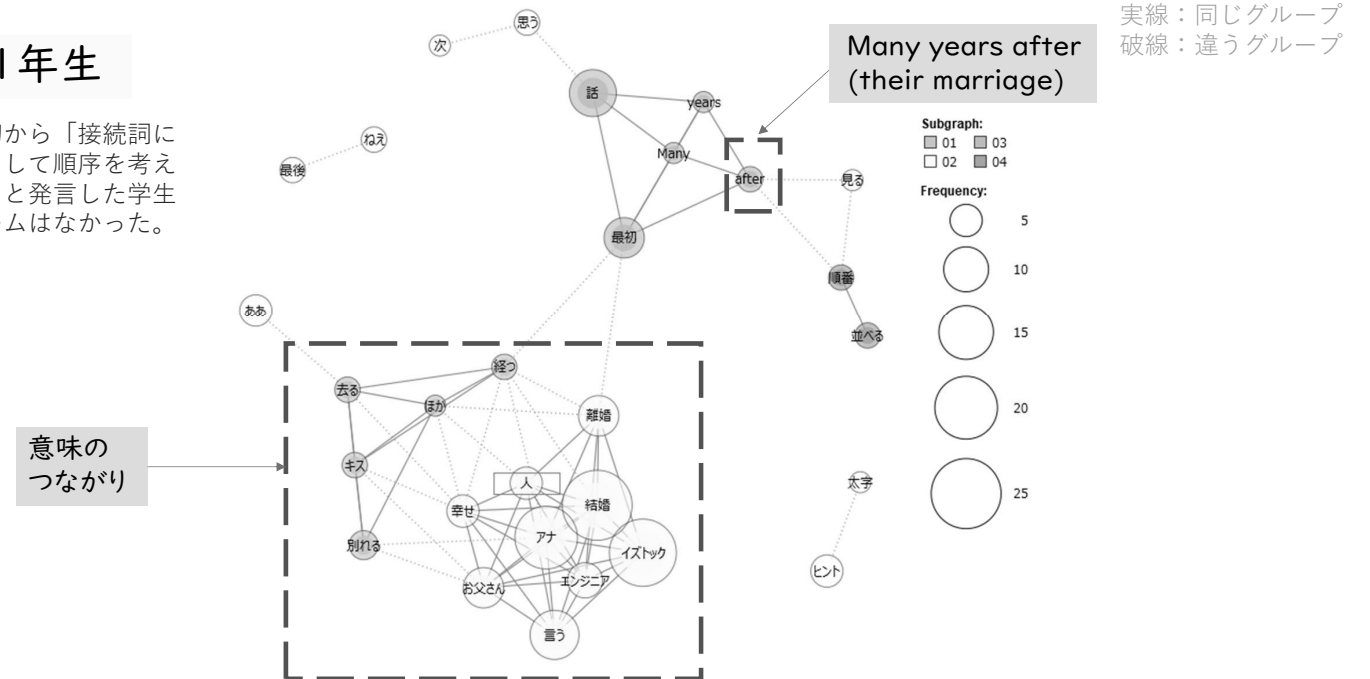
樋口耕一が開発・公開するテキストマイニングのための  
 フリー・ソフトウェア

- ①共起ネットワークによる分析 (語の共起関係の分析)
- ②対応分析 (外部変数を使った部分ごとの特徴語の分析)

### 4. 分析(続き) 共起ネットワーク①

1年生

最初から「接続詞に  
 注目して順序を考え  
 た」と発言した学生  
 チームはなかった。

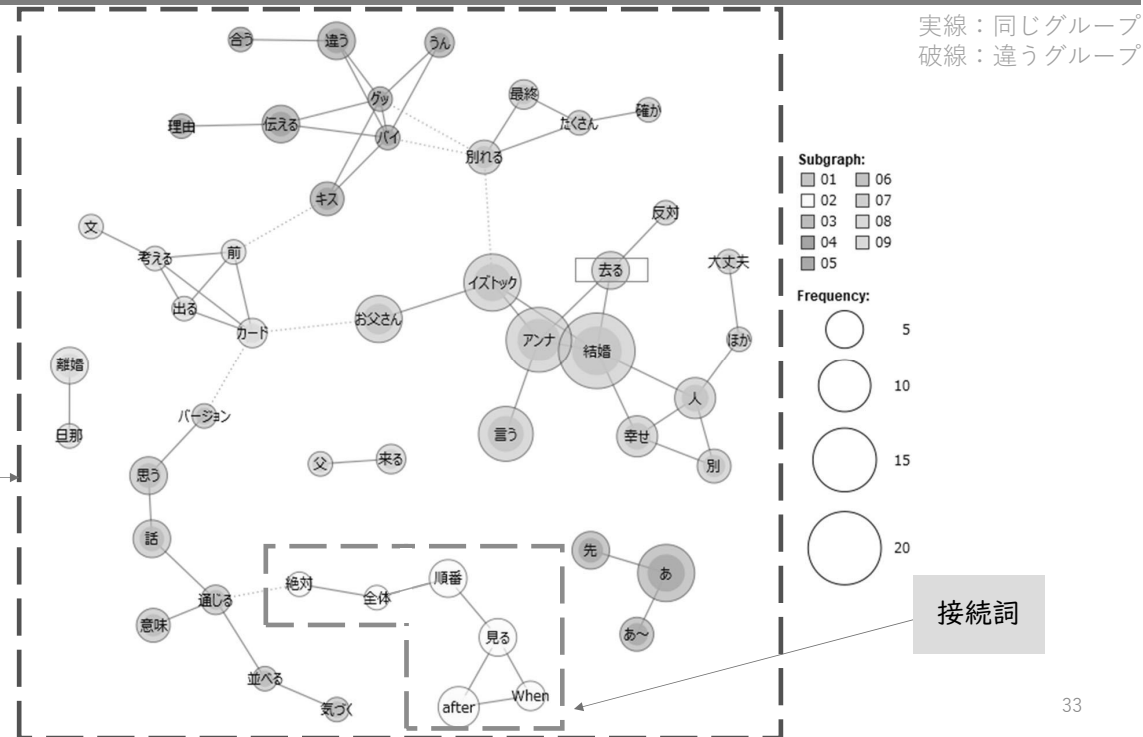


#### 4. 分析(続き) 共起ネットワーク②

##### 2年生

最初から「接続詞に注目して順序を考えた」と発言した学生チームが1つあった。

意味のつながり



33

#### 4. 分析(続き) 対応分析①

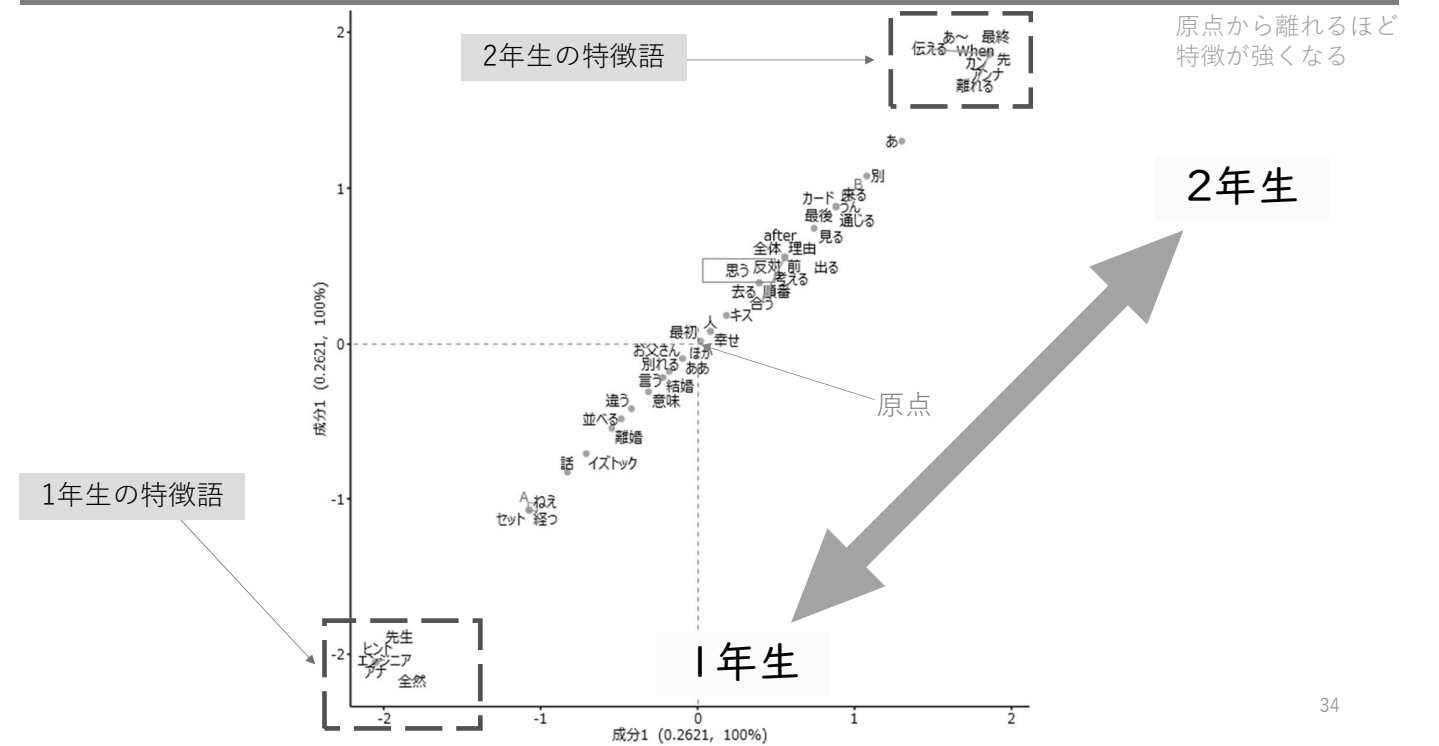
2年生の特徴語

原点から離れるほど特徴が強くなる

2年生

1年生の特徴語

1年生



34

#### 4. 分析(続き) 対応分析②

##### 1年生の特徴語

- ・ アナ
- ・ 全然
- ・ ヒント
- ・ エンジニア
- ・ 先生

##### 2年生の特徴語

- ・ 最終
- ・ 伝える
- ・ When
- ・ カン
- ・ 先
- ・ アンナ
- ・ 離れる

35

#### 4. 分析(続き) 教師の助言①

##### (2) 教師の助言

助言をきっかけに、学生が正しいカード順序等に気づいたもの

- ① 新たな知識を教授するもの
- ② 話し合いの整理などを促すもの
- ③ 部分的に正解を伝えるもの

36

## 5. 結論と課題

### 全体傾向

- まず全体のプロットを想像して作り上げることで、カードの並べ替えを行った傾向があった。
- 教師の助言により、接続詞に注目してカードの順番を考えることができた。

### 2グループの差異

- 2年生のほうが1年生より語彙が多かった。
- 2年生の一部は、接続詞を意識してカードの並べ替えを行った。

### 正しい順序の気づきに有効だった教師の助言

- 英語に関する知識を教授する。
- 注目すべき箇所を指摘したり、考えを整理することを促す。
- 正解の一部を伝えて、次に進むように促す。

※ 補足:より英語レベルの高い学生も、プロットを中心に順番を並べる傾向

41

## 5. 結論と課題(続き)

### 【リサーチ・クエスチョン】

- ① ディスカッション中の教師の助言により、学生は文法的連結(接続詞)と意味的連結の両方に意識を向けて話し合いをするか。

学生は意味的連結を中心に検討する傾向があるが、教師の助言は、学生が文法的連結に注目することに役立った。

- ② どのような教師の助言が、学生の並べ替えタスクに影響を与えるか。

文法項目などの教授やそこに注意を促すこと、さらには議論を整理するための声かけだけでも、学生が正しい順序に気づくことにつながった。しかし、正解の一部を教えることは、学生の受け身の姿勢を助長することにつながる懸念がある。

42

## 5. 結論と課題(続き)

### 課題

- 対象者数が少ない。
- ディスカッションで発言しない学生がいる。
- 受講者数の多いクラスでの実施には、工夫が必要である。
- 教師の入らない、学生だけのディスカッションにはどのような特徴がみられるか。

43

### 参考文献

- Heyer, Sandra. (1994). "A Love Story," 18-21, *Easy True Stories*, 2, Longman.
- Johnson, Keith. (1981). "Writing", 93-107, Johnson, Keith. and Morrow, Keith. (Ed.), *Communication in the Classroom: Applications and Methods for Communicative Approach*, Longman.
- Pincas, Anita. (1982). *Teaching English Writing*, The Macillian Press Ltd.
- White, Ronald, V. (1981). "Reading", 87-92, Johnson, Keith. and Morrow, Keith. (Ed.), *Communication in the Classroom: Applications and Methods for Communicative Approach*, Longman.
- 樋口耕一, 中村康則, 周景龍.(2022).『動かして学ぶ! はじめてのテキストマイニング フリー・ソフトウェアを用いた自由記述の軽量テキスト分析』.ナカニシヤ出版.
- 小笠原八重.(1984).『コミュニカティブ・アプローチと英語教育 Communication in the Classroom』.桐原書店.
- 白畑知彦, 富田祐一, 村野井仁, 若林茂則.(2009).『改訂版 英語教育用語辞典』.大修館書店.
- 沖原勝昭.(1991).「第1章 ライティングの原理」.『英語のライティング』. 1-42. 大修館書店.

44